

令和6年5月21日

二本松市議会議長  
本多 勝実 様

文教福祉常任委員会  
委員長 佐藤 運喜

### 「子育て支援施策について」に関する提言

少子化が進む今般、子どもや子育て世帯に対する支援がその重要度を増している。

本市においては、市内に出産できる医療機関が無いなど、出産・子育てに関する課題が山積しており、これらの解決に向けた取り組みが急務といえるが、財政状況は厳しく、取り組める施策は限られたものとなる。

そこで、本市の現状や取り組みを踏まえ、関係団体との懇談会や、先進事例の調査等を通して、今後の子育て支援施策の在り方に向けた調査を行ってきた。

この度、本委員会として以下のとおり提言する。

#### 記

#### 1. 妊娠・出産期における交通支援体制の整備・拡充

- (1) 出産時交通費助成事業におけるガソリン代助成券の助成内容の拡充について検討すること。
- (2) 産前産後3ヶ月程度（自身での運転に支障を感じる期間）の移動に関する不安を解消するため、通院の際の移動にかかる費用助成について検討すること。

#### 2. 出産に対するお祝い事業の充実

- (1) オムツ、ミルク等の出産祝品の支給について検討すること。なお、支給される物品が選択できるなどの柔軟な対応方法についても考慮すること。
- (2) 笑顔さんさん祝金支給事業の支給対象のさらなる拡充について検討すること。

#### 3. 土曜学び塾及び子育て支援施策のPR

- (1) 土曜学び塾について、「県内の市で初」といった特徴や利点を強調したうえで、積極的なPRを行い、活用の促進を図ること。
- (2) 既存の子育て支援施策について、若い世代をターゲットにした戦略的なPR活動（近隣自治体との比較による優位性の強調、SNSの活用、広告代理店からの出向者受入れ等）を行うこと。